
第 26 報 平成 23 年 10 月 21 日

東日本大震災 災害復旧資材供給情報

財団法人 経済調査会

【ストレートアスファルト】

J X 日鉱日石エネルギーの仙台製油所で、11 月より油槽所機能として 1 レーンでの出荷再開を計画。また、3 月を目標に生産再開を計画している。同じく J X 日鉱日石エネルギー鹿島製油所の生産は、通常の 7 割程度であるが、陸上・海上出荷とも通常通りの体制となっている。

コスモ石油の千葉製油所は、燃料油が一部出荷再開しているものの、スト・アスに関しては依然として出荷できない状態が続いている。

【アスファルト混合物】

販売側では、スト・アス価格の高止まり、稼働率低下などのコスト増要因を抱えており、さらなる値上げ浸透に向けて売り腰を強めている。

現在、スト・アス、燃料について供給が滞るなどの問題は生じていないが、年末から年度末にかけての需要集中による、輸送用のローリーやダンプの不足を懸念する声があがっている。

【改質アスファルト】

ニチレキの仙台工場が 10 月 11 日より完全復旧し、通常稼働している。これにより改質アスファルトは、稼働・出荷ともにほぼ震災前の状況に戻っている。

【鉄鋼製品、生コン、アスファルト合材工場の稼働状況について】

当会ホームページの「災害復旧資材の供給情報提供窓口」では、被災地への資材供給に関わる鉄鋼製品、生コン、アスファルト合材各工場の稼働状況が一目で分かる地図を掲載しています。稼働状況に変更があれば、随時、情報を更新してまいりますので、併せてご覧ください。

※ 災害復旧資材の供給情報窓口 <http://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/index.php>

【問い合わせ先】 財団法人 経済調査会 土木第一部・土木第二部
TEL : 03-3543-1471 FAX : 03-3543-2182

【ストレートアスファルト供給情報(製油所)】

①製油所の状況について

2011/10/20確認

製油所・工場名	所在地	稼働状況	出荷状況		備考	
			陸上出荷	海上出荷		
JX日鉱日石 エネルギー	仙台製油所	宮城県	×	×	×	11月より油槽所機能として1レーンでの出荷再開を計画。また、3月を目標に生産再開を計画。
	鹿島製油所	茨城県	○	○	○	現在生産は通常の7割程度の稼働ではあるが、陸上・海上出荷とも通常通りの体制。
	根岸製油所	神奈川県	○	○	○	通常通り出荷。
コスモ石油	千葉製油所	千葉県	×	×	×	燃料油は、一部出荷再開も、スト・アスに関しては当該製油所からの出荷不可状態が続いている。
	四日市製油所	三重県	○	○	○	通常通り出荷。
	堺製油所	大阪府	—	—	—	2010年3月より生産停止 (燃料油は問題なく生産・出荷中)
	坂出製油所	香川県	○	○	○	通常通り出荷。
昭和シェル	東亜石油(株) 扇町工場	神奈川県	—	—	—	2011/8/11をもって、陸上、海上出荷ともに出荷を終了。また、同日より横浜アスファルト基地から陸上出荷開始。
	昭和四日市石油(株) 四日市製油所	三重県	○	○	○	通常通り出荷。
	西部石油(株) 山口製油所	山口県	○	○	○	通常通り出荷。

※稼働状況:工場が製造を継続している場合は「○」、稼働していない場合は「×」で表示。

※出荷状況:出荷している場合は「○」、出荷していない場合は「×」で表示。

②その他(今後懸念される事項等)

8月11日に昭和シェル扇町工場が出荷を終了したことで、関東地区において稼働している製油所は、JXの根岸製油所、鹿島製油所の2箇所となったが、8月11日より、昭和シェル横浜基地から出荷を開始。現在まで関東地区での供給は、安定している。

一方、東北地区太平洋岸では生産拠点・油槽所の多くが被災した。出荷を再開した油槽所や出荷再開に一定の目処がついた拠点はああるが、依然として供給余力は大きくなく、急激な需要増への対応が困難な状況は当面続く見通し。

【ストレートアスファルト供給情報】

①各県(地域)への供給状況について

2011/10/20確認

地区	都道府県名	ストレートアスファルト						
		供給動向				価格動向		
		供給可否	運搬車両	運搬経路	備考	現状	先行き	変動要因
北海道	北海道	○	○	○		横ばい	横ばい	原油価格は、乱高下しているものの、コスト増もあり価格は横ばい。
東北地区	青森県	△	△	△		横ばい	横ばい	原油価格は、乱高下しているものの、コスト増もあり価格は横ばい。
	岩手県	△	△	△		横ばい	横ばい	原油価格は、乱高下しているものの、コスト増もあり価格は横ばい。
	宮城県	△	△	△	11月よりX仙台が油槽所として出荷予定。	横ばい	横ばい	原油価格は、乱高下しているものの、コスト増もあり価格は横ばい。
	秋田県	△	△	△		横ばい	横ばい	原油価格は、乱高下しているものの、コスト増もあり価格は横ばい。
	山形県	△	△	△		横ばい	横ばい	原油価格は、乱高下しているものの、コスト増もあり価格は横ばい。
	福島県	△	△	△		横ばい	横ばい	原油価格は、乱高下しているものの、コスト増もあり価格は横ばい。
関東地区	茨城県	○	△	○	6月3日鹿島石油から出荷再開。	横ばい	横ばい	原油価格は、乱高下しているものの、コスト増もあり価格は横ばい。
	栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・長野	○	△	○	昭和シェルが横浜に油槽所を8月11日開所。	横ばい	横ばい	原油価格は、乱高下しているものの、コスト増もあり価格は横ばい。
北陸地区	新潟・富山・石川・福井	○	△	○	新潟県の車両は不足状態。	横ばい	横ばい	原油価格は、乱高下しているものの、コスト増もあり価格は横ばい。
中部地区	静岡・愛知・岐阜・三重	○	○	○		横ばい	横ばい	原油価格は、乱高下しているものの、コスト増もあり価格は横ばい。
近畿地区	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山	○	○	○		横ばい	横ばい	原油価格は、乱高下しているものの、コスト増もあり価格は横ばい。
中国地区	岡山・広島・山口・鳥取・島根	○	○	○		横ばい	横ばい	原油価格は、乱高下しているものの、コスト増もあり価格は横ばい。
四国地区	香川・愛媛・徳島・高知	○	○	○		横ばい	横ばい	原油価格は、乱高下しているものの、コスト増もあり価格は横ばい。
九州地区	福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島	○	○	○		横ばい	横ばい	原油価格は、乱高下しているものの、コスト増もあり価格は横ばい。
	沖縄県	○	○	○		横ばい	横ばい	原油価格は、乱高下しているものの、コスト増もあり価格は横ばい。

ストレートアスファルト

※供給状況:供給できる場合は「○」、供給できない場合は「×」で表示。

※運搬車両:ローリー車が充足している場合は「○」、一部、運搬車両不足により供給が遅れることがある場合は△、運搬車両の手当てが出来ないまたは、運搬ルートが確保できない場合は「×」で表示。

※運搬経路:震災前までに行っていた運搬ルートに変更が無い場合は「○」、運搬ルートに変更がある地域が一部生じている場合は「△」、運搬ルートの変更を余儀なくされている地域がほとんどの場合は「×」で表示。

②その他(今後懸念される事項、他地区とは異なる価格動向等)

東北地区については、製油所、油槽所の被災により運搬経路が震災前と異なる状況にあり、運搬コストが増大している地域がある。これによるコスト増分も販売価格に転嫁し、価格交渉が行われている。
また、供給面においても、東北地区では、ローリー車が減少していることや、供給拠点の減少により、需要が集中した場合の製造、物流を懸念する声が多い。今後需要が増加した場合の安定的な供給には、全国の長期的な需給動向の予測が不可欠であるとしている。

【アスファルト混合物供給情報】

①各県(地域)への供給状況について

2011/10/20確認

地区	都道府県	供給動向				備考	現状	先行き	変動要因
		出荷状況	燃料(工場設備)	燃料(運搬車両)	運搬車両				
北海道	北海道	減少	○	○	○		横ばい	強含み横ばい	
東北地区	青森県	前年並以上	○	○	○		横ばい	強含み横ばい	
	岩手県	前年並以上	○	○	○		横ばい	強含み横ばい	
	宮城県	前年並以上	○	○	△	ガレキ処理などで、運搬車両が手当てしづらい状況が続いており、需要期のダンプ不足が懸念されている。	横ばい	強含み横ばい	
	秋田県	前年並以上	○	○	○		横ばい	強含み横ばい	
	山形県	前年並以上	○	○	○		横ばい	強含み横ばい	
	福島県	前年並以上	○	○	○	退避指示により稼働していないプラントが2工場ある。	横ばい	強含み横ばい	
関東地区	茨城県	前年並以上	○	○	○		横ばい	強含み横ばい	
	栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・長野	前年並以上	○	○	○		横ばい、一部地区で上昇	強含み横ばい	
北陸地区	新潟・富山・石川・福井	減少	○	○	○		横ばい	強含み横ばい	
中部地区	静岡・愛知・岐阜・三重	減少	○	○	○		横ばい、一部地区で上昇	強含み横ばい	
近畿地区	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山	大幅減	○	○	○		横ばい	強含み横ばい	
中国地区	岡山・広島・山口・鳥取・島根	減少	○	○	○		横ばい	強含み横ばい	
四国地区	香川・愛媛・徳島・高知	減少	○	○	○		横ばい	強含み横ばい	
九州地区	福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島	減少	○	○	○		横ばい、一部地区で上昇	強含み横ばい	
	沖縄県	減少	○	○	○		横ばい	強含み横ばい	

※出荷状況：前年並み・前年並以上に出荷がある場合(対前年95%以上)は「前年並以上」、前年より出荷が少ない場合(対前年80～95%)は「減少」、前年より出荷が少ない場合(対前年80%未満)は「大幅減」で表示。

※燃料(工場設備)：工場設備の稼働に対するエネルギーが充足している場合は「○」、一部、不足することが生じる場合は「△」、不足することが多い場合は「×」で表示。

※燃料(運搬車両)：主に軽油が充足している場合は「○」、一部、不足することが生じる場合は「△」、不足することが多い場合は「×」で表示。

※運搬車両：混合物出荷のためのダンプトラックが充足している場合は「○」、一部、手当てしづらい日が生じている場合は「△」、十分に手当てできない状態の日が多い場合は「×」で表示。

②その他(今後懸念される事項、他地区とは異なる価格動向等)

販売側では、スト・アス価格の高止まり、稼働率低下などでコスト増要因を抱えており、さらなる値上げ浸透に向け売り腰を強めている。出荷面では、特に中部以西で昨年に比べ出荷量が減少している地区が目立つ。スト・アス、燃料について供給が滞るなどの問題は生じていないが、**年末から年度末にかけての需要集中による輸送用のローリーやダンプの不足を懸念する声がある**。製造側ではこれまで以上に国・県・市町村など各発注機関と需給情報を共有し、安定供給を図りたいとしている。

【改質アスファルト供給情報】

①製造拠点(工場等)の状況について

2011/10/20確認

工場名		所在地	稼働状況	出荷状況	備考
日進化成	東北工場	岩手県	○	○	稼働中。スト・アス入荷に若干の難有り。
	関東工場	埼玉県	○	○	通常稼働中。
ニチレキ	青森工場	青森県	○	○	通常稼働中。仙台工場の全面復旧により、被災地へのサポート出荷は終了。
	仙台工場	宮城県	○	○	全面復旧し、10月11日より本格稼働を再開。
	千葉工場	千葉県	○	○	通常稼働中。仙台工場の全面復旧により、被災地へのサポート出荷は終了。
東亜道路	青森工場	青森県	○	○	ほぼ震災前の状況に戻っている。
	岩手工場	岩手県	○	○	ほぼ震災前の状況に戻っている。
	宮城工場	宮城県	○	○	ほぼ震災前の状況に戻っている。
	福島工場	福島県	○	○	ほぼ震災前の状況に戻っている。
	茨城工場	茨城県	○	○	ほぼ震災前の状況に戻っている。
	群馬工場	群馬県	○	○	ほぼ震災前の状況に戻っている。
	千葉工場	千葉県	○	○	ほぼ震災前の状況に戻っている。
	神奈川工場	神奈川県	○	○	ほぼ震災前の状況に戻っている。
	長野工場	長野県	○	○	ほぼ震災前の状況に戻っている。
昭和シェル	瀝青化学 袖ヶ浦工場	千葉県	○	○	設備稼働に問題なし。
	三重プラント	三重県	○	○	設備稼働に問題なし。

※稼働状況:工場が製造を継続している場合は「○」、稼働していない場合は「×」で表示。

※出荷状況:出荷している場合は「○」、出荷していない場合は「×」、燃料、原材料がなく出荷できない場合は「△」で表示。

②その他(今後懸念される事項等)

--

月刊「積算資料」掲載品(一般資材) 東日本大震災におけるメーカー等の被害状況および供給体制確認結果一覧

分類①	分類②	積算資料掲載ページ	品名	メーカー及び協会	確認日	被害状況について	供給体制について	備考
共通資材	型枠材	210 ～ 211	コンクリート 型枠用合板	販売店	10月5日	(東日本大震災) 荷揚げ港、港頭倉庫の被害は、一部を 残し復旧している。	(東日本大震災) 平常通り。	
建築資材	内外装材	572	針葉樹 構造用合板	販売店	10月5日	(東日本大震災) 宮古、石巻、大船渡など、製造工場が被 災。現在復旧作業中。石巻の複数工場 で、生産・出荷が部分的に再開されて いる。	(東日本大震災) 被災地では、仮設住宅建設の大半が終了したこと で、一般流通向けの供給も回復してきている。長尺品 は東日本エリアで十分な量の調達はいまだに難しい状 態が続いているが、被災工場の長尺品ラインは一部で 生産を再開し始めており、品薄感も次第に解消されて いく見込み。	
共通資材	木材	226 ～ 229	仮設・ 土木用 木材	組合・問屋	10月5日	(東日本大震災) 特になし。	(東日本大震災) 平常通り。	
共通資材	木材	230 ～ 237	一般 建築用 木材	組合・問屋	10月5日	(台風12・15号) 三重・奈良・和歌山・愛媛・徳島県におけ る一部地域で、土砂災害に伴い、製材工 場の冠水被害のほか、原木出材のための 林道が通行困難となるなどの被害が見ら れ、現在、復旧作業が行われている。	(台風12・15号) 先行き、原木(特に紀州材・尾鷲材や吉野材)の出材 減少が懸念されているものの、迂回路による出材や他 地域からの供給、市中在庫により、現状で通常取引に 支障が見られるまでには至っていない。	

月刊「積算資料」掲載品(一般資材) 東日本大震災におけるメーカー等の被害状況および供給体制確認結果一覧

分類①	分類②	積算資料掲載ページ	品名	メーカー及び協会	確認日	被害状況について	供給体制について	備考
土木資材	軽仮設資材	254(販売) 278(リース)	仮設足場	全国仮設安全事業組合・軽仮設リース業協会	10月6日	なし。	東北地区では東日本大震災復興工事向けの引き合いが増えてきたものの、現時点では供給能力に問題はない。 被災地以外の供給は平常通り。	
土木資材	軽仮設資材	260 264	ブルーシート、土のう	メーカー、販売店各社	10月6日	なし。	ブルーシート、土のうとも東日本大震災後、メーカー、販売店は在庫を積み増している。台風12号・15号による豪雨被害向けについても供給能力に問題はない。	
電気設備資材	電線・ケーブル	612～613	600V架橋ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル(CV)	販売店	10月5日	(東日本大震災) 特になし。	(東日本大震災) 平常通り。	
機械設備資材	配管資材	782	硬質ポリ塩化ビニル管	メーカー各社	10月4日	(東日本大震災) 特になし。	(東日本大震災) 平常通り。	